

じどうしつだより No. 84 (2013. 7発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p>『かあさんはどこ？』</p> <p>クロード・K.デュボワ作 落合恵子訳 ブロンズ新社 2013.2</p> <p>1110603550</p>	<p>その日、その子が友だちと、おもちゃのふねで遊んでいると、すぐ近くに爆弾が落ちてきました。みんなは逃げだしました。その子も家まで走って逃げました。でも、家はめっちゃめっちゃになっていて、家族はだれもいません。かあさんはどこ？大勢の逃げていく人たちと一緒に歩いて歩いて…。戦禍の中、家族をさがし歩く幼い子の気持ちが、内容だけではなく色彩からも、ひしひしと伝わってきます。</p>
<p>『ふかいあな』</p> <p>キャンデス・フレミング文 エリック・ローマン絵 なかがわちひろ訳 あすなる書房 2013.2</p> <p>1110598834</p>	<p>トラに追いかけられたカエルが、深い穴に落ちてしまいました。カエルを助けようとしたネズミも落ちて、スローリスも、マレーグマも、サルも落ちてきますが、穴が深すぎて出られません。舌なめずりをしたトラが、一匹残らず出してやろうと近づいてきます。そこへ、地響きをたてながらソウがやってきました。さて、みんなは助かるのでしょうか…。</p>
<p>『バナナのはなし』</p> <p>伊沢尚子文 及川賢治絵 福音館書店 2013.3</p> <p>1110608663</p>	<p>バナナを冷蔵庫に入れてみました。冷やしたら、おいしくなるかな？ところが、一週間後、黒くなってしまいました！バナナは、暑いところで育つので、寒いのは苦手です。だから、冷やすと弱って皮が黒くなるのです。バナナのすじの役割や、バナナの中にある黒い点の正体もわかります。巻末には、バナナの皮の色についての解説があります。</p>
<p>『ちいさなはくさい』</p> <p>くどうなおこさく ほてはまたかしえ 小峰書店 2013.4</p> <p>1110632490</p>	<p>たねが吹き飛ばされたのか、畑のわきに芽を出したはくさいがありました。そのちいさなはくさいは、そばに立っていた柿の木から色々と教わりながら育っていきました。ある日、トラックがやってきて、はくさいたちを八百屋に運んでいきました。でも、ちいさなはくさいは、乗せてもらえませんでした。やがて、春が来て、ちいさなはくさいは、きれいな花をさかせました。もう、ちいさくなんかありませんでした。</p>
<p>『つなのうえのミレット』</p> <p>エミリー・アーノルド・マッカー作・絵 津森優子訳 文溪堂 2013.4</p> <p>1110616389</p>	<p>ミレットは、パリの宿屋のむすめ。その宿に、引退した綱渡り師のベリーニがやってきました。ベリーニは、有名な綱渡り師でしたが、恐怖を感じるようになり、行き詰っていたのです。シーツをとり込みに行ったとき、綱渡りをしているベリーニを見かけたミレットは、綱渡りのとりことなり、ベリーニに教えを請います。初めは渋っていたベリーニでしたが、ミレットの熱意にうたれ、教えることにします。それをきっかけに、ベリーニはミレットに恥じないよう、綱渡り師として再起することを決意します。</p>
<p>『もしも、ぼくがトラになったら』</p> <p>ディーター・マイヤー文 フランツィスカ・ブルクハルト絵 那須田淳訳 光村教育図書 2013.2</p> <p>1110606631</p>	<p>オスカーは、小さなネズミのおとこの子。ママには、外に出てはいけませんと言われていました。でも、土の中のおうちばかりではもう嫌です。そこで、外に出てみることにしました。外に出たオスカーは、怖いものから逃げるだけでせいっぱい。そこで、根っこの魔法使いブルツルさまに、森でいちばん強いトラにかえてもらいました。ところが、大好きだったにんじんもチーズも、ますぐて食べられないのです。</p>